

シルバーさつま Satsuma



仕事の時も遊びの時もいろんな準備が必要だけど、十分な時間も準備しようね

人生まだまだ先が長いよ、焦らず行こう

青空の世界遺産
大江天主堂(天草)



1 自分のも
として考える

自主

2 自分たちの力で
育てる

自立

3 一緒になって
働く

共働

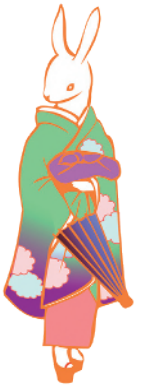
4 互いに
助け合う

共助

公益社団法人さつま町シルバー人材センター

人の一生は重荷を負いて
遠き道を行くが如し
急ぐべからず
不自由を常と思えば不足なし
心に望み起らば
困窮したる時を想い出すべし
堪忍は無事長久のもとい
怒りは敵と思え
勝つ事ばかり知りて
負ることを知らざれば
害その身に至る
おれをせめて
ひとを責むるな
及ばざるは
過ぎたるよりまさされり

徳川家康



2023
年明け
Vol.45

2023年 開幕



3

謹 賀 新 年

4

令和5年

新春対談

まちづくりを伝える取り組みにご理解とご協力を

6

発注者
からの

励 の 言 葉

9

さつまシルバ

写 真 館



10

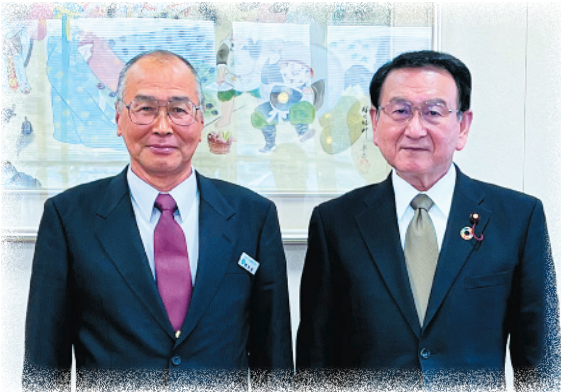
令和5年

とし男 & とし女

11



跳びだすぞ～



〈表紙の写真〉



昨年の11月26日(土)、互助会の旅行同好会、日帰りバス旅行を3年ぶりに開催しました。行先は熊本天草。参加者35名は、大型バスを貸し切りにして長島町諸浦港からフェリーで獅子島を經由して天草中田港へ。天草といえば、江戸時代に起きた島原の乱の「天草四郎」。ということで、この旅は、長く弾圧されてきたキリシタンの人々の思いを知る良い機会となりました。炉端焼きの海鮮も美味で、自分と家族へのお土産もたくさん買いました。

表紙の写真は、2018年に世界文化遺産に登録された大江天主堂の前で撮ったものです。弾圧されてきたキリシタンが大切にした場所で、この3年もの間コロナ禍により旅行の開催も控えざるを得ず、抑圧されてきた気持ちを開放するにふさわしい青空にも恵まれ、とても良い一日となりました。

※表紙のどこかにチエブクローが隠れているからさがしてみね



2

2023年 開幕

—今年はどうなるかな—

『千支』について

千支は、十二支のことだと思っていま
せんか。実はそうではないのです。

十干と十二支を組み合わせたものを千
支といいます。

十干とは、木、火、土、金、水の5
つのそれぞれ陽と陰を表す

甲と乙、丙と丁、戊と己、庚と辛、壬と癸
の10種類のことで、この甲乙丙丁…の
順番に十二支の子丑寅卯…を組み合わせ
せてみてください。

甲子から始まって、次の甲子がくるの
は61番目。ということは60の組み合わ
せで一巡りになります。そこから60歳
を『還暦』というのです。

ちなみに、『えと』という呼び方は、
さきほどの十干の陽と陰が兄と弟に置
き換わり、兄を『え』弟を『と』と読
むところからきているんだピョン。



今年、癸卯です。癸は、十干の中
で十番目に位置しており、物事の終わ
りと始まりを意味しているほか、「揆
(はかる)」という文字の一部である
ことから、「種子が計ることができ
るほど大きくなり、春が間近でつぼみが
花開く直前」という意味もあります。

卯はうさぎで、優しさの象徴です。

「卯」の文字は「茂」が由来で、「春
の訪れ」を表し、「卯」の形が門が開
く様子を連想させることから、「冬の
門が開き、春へ飛び出す」という意味
があります。

以上のようなことから、癸卯の今年
には、「これまでの努力が花開き、実
り始める」ことを期待したいものです。
ちなみに歴史を振り返ると、徳川家
康により江戸幕府が開かれた1603
年は、この癸卯の年でした。さらに
時代が下り、大政奉還がなされた
1867年は丁卯で同じくうさぎ年で
した。

昨年のような世界の様子を見ている
と、比較的安定した時が長く続いた江
戸の世のように、平和に向かう第一歩
となる年になってくれることを願わず
にはいられません。



チアリーダー界の
かしまい
センターズ 袋田

今年、関東大震災が起こって、
ちょうど百年となる年。

震災といえば最近では、記憶に深
く刻まれた東日本大震災が起きたの
が今から十二年前の卯年でした。

当時は、復興に向けて日本が一丸
となり思いやり溢れる空気に満ちて
いました。

それが、時が経つにつれ一体感
薄れてくるようになりました。世が
定まらずに人の持つ負の側面が現れ
ようになってきました。

人は、欲望におぼれ、歎き、憎悪
し、ときに殺すこともあります。凶
暴性も醜悪さも人の持つ側面ではあ
るでしょう。しかしそれは決して人
の本質ではありません。

「人の持つ本質は『光』だと信じ
たいと思います。幼子の無邪気な姿
を目にすると、そんな光を感じます。
生まれた時から元々持っている自分
の中の「光」優しさ」を周りの人の
ために輝かせるよう努めていけたら、
この世はまだ捨てたもんじゃな
いと思えるのではないだろうか。

(原泰久「キングダム」)

三十九・四十巻から

(一部引用)

謹賀

新年の
ご挨拶

2023

新年

理事長



ろくろなおき
轆轤直樹

新年、おめでとうございます。

皆様方には、かねてからさつま町シルバー人材センターの事業へのご理解とご協力、格別のお引き立てを賜りまして厚く御礼申し上げます。

今年の始めにあたり、このように広報紙「シルバーさつま」の45号を発行することができましたこと、そして町民の皆様方のお手元にお届けすることができましたこと、関係各位のご協力にも感謝申し上げます。

さて、当センターも平成十七年の旧三町の統合合併で新生さつま町シルバー人材センターとしてスタートして、今年で19年目を迎えます。2年後には二十周年の記念事業も控えておりますが、実質的にもますます町民の皆様方に頼られ、まちに根差した団体としての矜持をもって事業

運営に努めてまいりたいと考えております。

世界に目を向けますと、さまざまな事件や事故、思いもかけない争いなども起こり、目まぐるしく変化するなかにあります。胸を張って次代に残すことができる地に足を着けた持続可能な事業を展開してまいります。町民の皆様方からの信用・信頼を旨として、安全就業、適正就業を確保するために第三次中期計画の策定とその実施に向けて取り組んでいるところでもあります。前述したとおり、昨今の予測不可能な状況下においても、会員や役員各位が「先読み力」を磨くことによって、事故を防止し、発注者様などからのご不満やお叱りを受けることのなきよう努めてまいりたいと存じます。

年明け早々、寒い日も続きいまだに新型コロナウイルスの完全な収束も見えませんが、皆様方におかれては、何をさておいてもご自愛専一にてお願いいたします。甚だ簡単ではありますが、年頭のご挨拶とさせていただきます。

副理事長



ふくやまけいこ
福山桂子

令和5年が明けました。おめでとうございます。

皆さんには健やかにお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。私は、生まれが福岡です。さつま町へは、夫の実家があったこともあり、18年前の平成17年にやって参りました。

さつま町のことも全くわからず、知り合いと呼べる人もいませんでしたので、まずは地域を知ろう、そこにいる人々とお知り合いになろうという思いから、シルバー人材センターの会員になりました。

当時は、旧3町が合併して、「さつま町シルバー人材センター」として生まれ変わったばかりで、女性の会員さんも多くいました。そこで知り合った仲間とともに、「これだったら私もできるかも！」と始めたのが室内清掃のお仕事でした。初めはやっぱり不安の方が大きかったのですが、一緒に働く仲間の

存在と、発注者の方々からいただく「きれいにしてくださいありがとうございます」という温かい言葉に励まされてここまでくることができました。

人は、他人と関わる日常生活の中で程よい緊張感と働ける喜びを味わいながら楽しむところに、若さを保つ秘訣があると聞いたことがありますが、今まさにそのことを身をもって感じています。

そして、シルバーには働くだけではなく、女子会をはじめとする色々な同好会もあり、気心の知れた仲間とともに楽しめる場がいろいろとあります。

町内にお住まいの（気持ち二十歳でも実年齢が）60歳以上の方は、是非シルバー人材センターの様子を見に来て、よかつたら入会してください。私たちは、もっと多くの方とお知り合いになって、人生の春を謳歌したいと思っています。皆さんのお越しを、ちかっぱ（すごく）楽しみにしています！



こしばえひろき
小椎八重廣樹

明けておめでとございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もシルバー人材センターをよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私はセンターに入職して今年で10年目の節目を迎えます。十年一昔といいますが、一所懸命駆け抜けた十年でした。シルバー会員が減少傾向にあった当時の会員数は、今でも覚えています。247名でした。町役場を定年退職して、次のステージへの希望を抱いて飛び込んだシルバー事業を少しでも盛り上げようと、最初に取り組んだのは、会員拡大でした。

当時のシルバーのイメージは「草刈り」に代表される男性色の強いものでした。まずはイメージ戦略として、女性会員拡大強化に取り組み、女子会の発足や機関紙である「シルバーさつま」の年二回の発行と内容の充実によって、シルバー事業の知名度を高めるなど普及啓発に

努めてまいりました。また、入会の門戸を広げることを目的として、会員会費の入会月による減免や夫婦会員の会費の減額など必要な規程の見直しや、入会後即納入ではなく就業実績後の納入も可能にする運用も始めました。同時に、就業が困難になった場合でも互助会や同好会活動に参加できるようゴールド会員の導入など退会抑制も進めてまいりました。

結果、令和4年12月末現在の会員数302名となり、大台にのせることができました。これもひとえに入会者の方々や町民並びに関係各位のお陰様と心から感謝申し上げます。また、会員拡大と並びシルバー事業に欠かせないのが就業機会の拡大です。その取り組みの一環として、役場生活42年の経験を活かし、働き方改革の名のもとに町の出先施設の役場職員の配置に代わるシルバー会員の活用の提案を行いました。それが宮之城総合体育館や温泉プール、閉校学校体育館などの管理業務といった就業機会の確保につながりました。ちなみに、令和3年度における受託事業と派遣事業の就業延べ人員は、2万7420人で、さつま町の人口を上回っています。

以上のように、私は常務理事・事務局長として会員拡大と就業機会の拡大を二枚看板として取り組んでまいりました。さまざまな評価もございましたが、シルバー人材センターは、地域に根差した生産団体として、就業を通じて高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実と健康の増進など、町のために大いに貢献しているものと自負しております。

今後ますます進むであろう少子超高齢社会において、存在感を示しながら地域社会に貢献するために、シルバー人材センターが持続可能な組織として運営できるよう取り組んでまいります。

最後に、当センターでは、『会員一人一会員お誘いキャンペーン』を実施しております。かく言う私自身シルバーの会員です。この紙面を借りてお誘いさせていただきます。

『60歳まではリハースル

60歳からが人生の本番！』

60歳以上の町民の皆さんの入会を心よりお待ちしております。一緒に楽しく働きましょう！

ご挨拶

役員殿の15人
THE 15 DIRECTORS OF THE SILVER

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事長
坂元満秋	橋之口幸男	先崎朋子	今東秀嗣	内堀茂子	福囿三夫	上村尚	角之園良治	下牧瀬秀司	奥田哲男	徳永満義	久保田春彦	小椎八重廣樹	福山桂子	轆轤直樹

令和5年

第2弾

新春対談

まちづくりを支える取り組みにご理解とご協力を

轆轤直樹

さつま町シルバー人材センター 理事長

公益社団法人

宮之脇尚美

さつま町議会 議長



あけまして

おめでとございませう。

昨年の町長との対談に引き続き、今年も町議会議長との対談を、『第2弾』と銘打って行わせていただきました。町民に寄り添う議会議員の方々をまとめるお立場の議長との対談では、町民の皆様からの生の声や、議長が佐賀県に視察に行かれた際、とても貴重で参考になるお話を伺うことができました。

時代の流れとともにシルバー人材センターを取り巻く状況も変化するなかにあつて、議長からの示唆に富んだお話や、共にさつま町のまちづくりのために知恵を出し合っていました。今年の幕開けにあたり非常に励みになる対談となりました。

さつま町に一つしかない公益の人材センターとしての自覚と誇りを胸に、今年も会員並びに役職員が一丸となって町民の皆様方の負託に応えてまいりたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

シルバーを見てきて

理事長

本日はお忙しいなか、このように対談の場を設けていただき感謝申し上げます。どうぞよろしくお願います。

議長

理事長もかつては役場の職員としてともにお仕事をさせていただいた仲です。本日は忌憚なくお話しできたらと思っております。さて、私はシルバー人材センター立ち上げの際、役場総務課にてシルバーのことは公共性・公益性の非常に高い団体として当時から期待感をもって見守ってきました。

理事長

シルバーは、臨・短・軽（臨時的、短期的、軽易な仕事を請負う）や生きがいのためという基本的な考えのもと、高度の公益性を持った団体であるという認識は、議長をはじめ立ち上げ当初からシルバーを支え



てくださった方々のおかげで、町民の皆さんに浸透してきたものと感じている次第です。

議長

おっしゃる通りです。シルバーの存在はさつま町の60歳以上の高齢者には欠かせないものとなりました。

このところ増えている災害の復旧作業にみられるように、民間の業者なども人手不足で困っていると聞きます。シルバーには、そのような人手不足の分野での補完的な役割をシニア世代の活用によって果たしていただきたいです。

ルールも大事です。が…

理事長

これだけ町民に認知されるようになりますと、信用・信頼という観点から、

就業中の安全対策や仕事の仕上がり具合への配慮などにも気を配らなくてはならないと感じています。

議長

そうですね。その点、ある町民の方から、「草刈りをきれ



安全や仕上がりへの配慮が生まれてくることこそ理想だと私は考えます。そのような姿を若い世代にも示していただきたいものです。

バランスのとれた組織へ

理事長

「老いては子に従え」とは言いますものの、議長のおっしゃる通り、若い世代に良き範を示せるシルバー隊でありたいものです。若い世代と言えば、当センターの事務局の職員が、平均年齢53歳で決して若いとは言えません。新卒者や子育て世代など若い方々にも事務局に入っていただき、会員のシルバー世代と若い世代とが共に良い方向へ歩みを進め、バランスのとれた持続可能な組織づくりも目指していきたいと考えております。

議長

なるほど。そういう意味では若い世代は役場にもたくさんおりますので、役場職員とシルバー人材センターとの意見交換会などの交流もいいのではないのでしょうか。



一番の願いは…

理事長

そのような場を設けていただけただけなら大変ありがたいことです。

話は尽きませんが、最後に、議長からシルバーへ期待することを伺えますか。

議長

そうですね。やはり、人生の経験はとても豊富であられる方々ばかりです。ですので、就業だけに留まらず、皆様方の体験や知恵、知識などを町民の皆様には披露する場として、

シルバー人材センターには期待したいと思えます。例えば、自衛隊におられた方もいらつしゃると聞きました

が、防災対策の講師なんていいと思いますよ。また、技能や技術の継承も是非取り組んでいただきたい。

毎年、中島朗^{あきら}さんに自宅の庭木を剪定していただいています。是非彼の技術や経験知^{ねうち}(値)を次の世代に引き継いでいただきたいと思えます。

理事長

そうなんです。当センターに入会される方は、昨今の定年延長や再雇用などにより、70歳を過ぎた方が大多数です。会員の平均年齢も73歳で

ですので、議長の指摘される通り、皆さんの技の継承は喫緊の課題の一つです。そういう意味でも技能講習会などを今年取り組むべき事業の一つとして検討しております。

議長

それは是非とも取り組んでください。また、シルバー人材センターではインボイスや事務所移転問題などの懸案もあると伺いました。議会としてもできうる限りのバックアップをしたいと思っております。

ともに進む

理事長

嗚呼、それは大変心強く思えます。

今日のお話はどれも貴重なものだったと思えます。

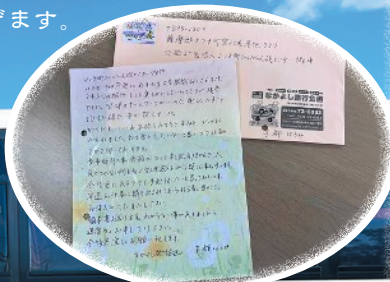
議長

良いまちづくりのために今後も協力していただけたら幸いに存じます。ありがとうございました。



互助会親睦旅行 ～フェリーで行く天草！絶景と歴史とグルメ～

3年ぶりに開催した旅行同好会主催の日帰りバス旅行に際し、同好会の世話人で事務局職員の女性たちが、前日まで入念な準備をしてくれました。また、当日の旅先では、フェリーの時間の関係で買い物の時間が十分ではなかったり、食べ慣れない海鮮に手こずったりといろいろなことがありましたが、バスのガイドさんや運転手さんの心温まるサポートとおもてなし、行く先々でのお店のスタッフさんなどにも支えられ、手作り感のあるとても良い旅でした。また来年も楽しい旅ができますように。参加して下さった会員の皆様にも心から感謝申し上げます。



「35名の集合写真～十三仏公園展望台にて～」

発注者
からの

激励の言葉



宮之城温泉 旅館玉之湯 様

☎ 895-1817 薩摩郡さつま町湯田1366-42
☎ (0996)55-9111



『美人の湯』として屈指の泉質を誇る温泉をはじめ、奥薩摩の恵みをふんだんに使った季節のお料理、ゆるやかな時間を心ゆくまでお楽しみください。(ホームページより)



玉之湯

旅館 TAMANOYU



かごしま安心の宿
感染防止対策施設認証

玉之湯 宮之城 検索



当センターでは、さつま町湯田にあります『玉之湯』様から、厨房での補助的なお仕事、食事の給仕、客室などの清掃の依頼をいただいております。現在2名の会員さんが派遣の形で従事して下さっております。今回は、そんな玉之湯様にご協力をいただき、日頃の会員さんの働いている様子などをお伺いしました。

当旅館は、昭和15年に「紀寿館」として創業し、創業者の片山タマの名と「肌が珠たまのように美しくなる温泉」という二つの意味を重ねて、昭和35年に現在の屋号「玉之湯」と改めました。

町のシンボルでもある竹をテーマにした素敵な空間に、県内屈指の芸術家たちの手がけた作品が彩を添えて、皆様のお越しをお待ちしています。

私どもの業態は、一般の方がお休みの時がまさに書き入れ時です。シルバー人材センターの会員の方々には、そのような時にもかわららず快くお仕事をさせていただき大変助かっています。また、私どもがなかなか手の届かない部分にもよく目配り気配りをしてくださり、心のこもったお仕事ぶりに感謝の気持ちでいっぱい

いでございます。玉之湯の雰囲気にも馴染んでいただいて、私としても安心してお仕事をお願いすることができています。良い方々に来ていただいたと大変心強く感じています。会員の皆さんには体調に十分気を付けられて、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

玉之湯 代表取締役

片山 晋介

シルバー人材センターから来られる会員の方には、時に姉のように時に母のように接して下さり、私としても本当に安心してお仕事をお任せできていることもあって、頼ってばかりです。旅館では、いろいろなことがあり決して楽しいことばかりではございませんが、いつも笑顔で頑張ってください、感謝の言葉しかございません。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

『ありがとうございます』

そんな皆さんへ私からのお願いはただ一つ。健康管理と行き帰りの車の運転には十分気をつけられて、これからも末永くお付き合いです。どうぞ、お願い申し上げます。

玉之湯 女将

片山 京子



玉之湯様の人手が欲しい時になかなか人繰りがつかずに、ご迷惑をおかけすることもあるにもかかわらず、温かいお言葉をいただきました。派遣会員の方々にも、すぐく頑張っていたいただいて、とても感謝しています！



担当 徳田光宣 (通称 かごくまもん)

写真館



きれいになったよ



草も根っこから取らないとね



おめでとう!



加勢じに糸たり?



ぬい汗をかいた〜



サインはV



会研修会 & 忘年会

材センター / 会員互助会 / 2022.12.2



入ったよ〜



まあまあ、一杯

安全は全てに優先する
笑いはみんなをしあわせにする



ドンマイ!



まかふり揺れま!



ラッパが

プ〜



よか晩じゃ!



こりゃ、おもしろか



手納会研修会 & 忘年会

ルバー / 材センター / 会員互助会 / 2022.12.2

この液体を...



『吾布紅』みたいにキバレ!



照れるから撮るなって(笑)

ハイハイ、マスク



令和5年 とし男 & とし女

今年主役の会員さんたち

みなさんそれぞれに今年の抱負を胸に、元気いっぱい頑張ります！

 準備ができたら 仕事にはよ、行こう！ 米盛さん	去年は150件近くの 仕事を頑張りました！ 今年で84歳！ 前之園さん	公園や墓地の 除草ならお任せを！ 公共班の名に懸けて 塩屋さん	公共施設の 除草作業班の 最古参！ 上屋敷さん	わたしも 公共施設の 除草作業班です 徳永さん	オールラウンド プレイヤー 今年のモットーです！ 本村さん
 安全就業！ めざせ事故ゼロ 上別府さん	今年も シルバー会員として 頑張ります！ 中村さん	『安全に楽しく！』 それが私の看板です 安楽さん	夏前の網戸の 張り替えいかがです？ 古藤さん	私が握るのは、ハン ドルと乗車される皆 さんの安全です！ ホ下さん	清掃のお仕事をし ています。自分の 心もきれいになる 気がします！ 福成さん
キオビエダシヤク 見かけたら 退治はお任せを！ 前野さん	大工から 草刈り、農作業… いろんなことに チャレンジしよう！ 内藤さん	今年度は是非、 囲碁同好会を 立ち上げたい！ かわち 山内さん	食は人を良くする！ 朝倉さん	わが家の竹山の整理が 終わり、次は町内の竹 林もきれいにしたい！ 轡轡さん	今年も心を込めて、 未来をになう若者の成長 を支えるメシ作り！ 朝倉さん
発注者様の立場に立っ て、親切丁寧な仕事 を心がけています！ 海老原さん	身の回りのちよつと したお困り事や お願い事、お手伝い いたします！ 久木野さん	今年一年も楽しく 仕事をしよう！ 別府さん	施設を守る デイフェンダー。 今年も怪我なくフル出場！ 大野さん	入会して2年目に入り 仕事にも恵まれ、充実 しています。ブラボー！ 大野さん	30名の会員が 今年の主役 (年男・年女)だよ！ 会員さんも ソーシャルディスタンス をとっています



昭和を語り伝える

昨年11月、薩摩農村環境改善センター・中央公民館のロビーギャラリーにて「昭和のおいとおもちゃ展」とおもちゃ展」が開催されました。会場内では、当センターの2名の会員（税所さんと豎山さん）が、昭和を懐かしむ来場者の対応にあたりました。2人は、地元の昭和の様子を知る語り部としても活躍されていました。

お題「0(ゼロ)」

新年を迎え、気温がマイナスとなる寒い日が続きますが、皆様におかれてはいかがお過ごしでしょうか。

月並みですが昨年も色々なことがありました。なかでも、いまだに尾を引き続ける新型コロナウイルスを抑え込もうとした中国。ロシアによるウクライナへの侵攻と攻防戦の長期化が引き起こす世界的なエネルギー不足。日本においては歴史的な円安に伴う物価の上昇など、プラスの面というよりもマイナスの面が際立った年でした。

今年の干支は癸卯(兔)です。兔は跳ねるといふことから「飛躍」「向上」の年などと言われ、「植物の成長」の意味もあるそうです。草の伸びも活発になりそうなので、今年の草刈りのご依頼はお早めに！

マイナスからプラスに転じることを願います。この両者の間には0(ゼロ)が存在します。このゼロの概念は、仏教発祥の地であるインドで生まれたそうです。仏教では、この世のものはすべて実体がない「空」であり、「色即是空」、この実体のないものがこの世を彩っている(「空即是色」という考え方があります。そのような仏教の考え方の中か



ら、「何もない状態『ゼロ』が存在する」ことを発見したわけですが、そんなゼロですが、昨年は中国の「ゼロコロナ政策」や世界規模での「カーボンゼロ(ニュートラル)」、日銀の「ゼロ金利政策」など何かと話題になり、そしてこのゼロへのこだわりが前述したようなマイナスな面を生んだのではないのでしょうか。

私たちシルバー人材センターにおいては、就業中の事故をゼロにする取り組みを続けています。昨年のような社会の様子を教訓として、ゼロという数字にこだわるのではなく、みんなで意識して声を掛け合って、事故をなくしていく過程・プロセスを大切にしていきたいと思えます。そこで、来年度からの取り組みの一つとして、一般的に土木業や建設業で用いられている「安全施工サイクル」的な考え方を採り入れた「安全就業サイクル」の策定と実施に向けて取り組んでいくところです。

会員・役員員みんなが一丸となって安全な就業が当たり前になるための循環の輪を広げていきます。



大募集!

Welcome 新入会員

毎月第3火曜日 入会説明会 好評開催中!

今年度の入会者は **25** 名だよ! (令和4年12月末現在)

お問い合わせ先 さつま町シルバー人材センター ☎ (0996)52-3363

一月一日 日曜日 日直りあり

編集後記

新年、おめでとございます。令和5年の幕があげました。町民の皆様方におかれては、どのような年明けを迎えられましたでしょうか。当センターの広報紙も年2回の発行になって、今号で5紙目になります。毎回、広報委員会のメンバーで少しでもシルバー事業の普及啓発につながるようにと知恵を出し合い、心を込めて育て、送り出す大切な我が子のようなものです。

世界的に世情不安な状況下、少しでも明るい話題を提供したいという思いを傍らに編集しました。

令和5年のスタートにあたり、この広報紙が、少しでも町民の皆様方の心に染み込み、シルバー事業への更なるご理解とご協力をいただくための一助になれば幸いです。今年もさつま町シルバー人材センターへのご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



広報委員会一同

